

自家菜園で活用できる雪印野菜

自家菜園には育てる楽しみと、味わいやすくて、おいしい野菜の品種を紹介します。

エダマメ…自家菜園の定番ですが、品種を組み合わせると、長期間収穫できます。早生の『春の舞』『サッポロミドリ』、中早生の『ユキムスメ』、中生の『サヤニシキ』が代表品種です。栽培は容易ですが、窒素肥料を控え、収穫遅れにならないように気をつけます。

サヤインゲン…草丈が膝上くらい、『ネリナ』が丸莢で収穫期間が長く適しています。窒素はエダマメよりは多く施します。取れば霜が降りるまで成りますので、取り残しのない様にします。樹が大きくなりすぎたら、支柱をつけてください。

絹サヤエンドウ…『三十日絹莢』が五〜七月に播種できお勧めです。一・八m位の支柱をたてて、栽培します。豆が膨らんで、莢が黄ばみはじめたものはグリーンピースとして利用できます。

スイートコーン…用途によって品種を使い分けれます。最も甘味が強く、皮が柔らかいのは『ピュアホワイト』です。名前の通り白色の中生種で、ラップに包みレンジで五分できあがりです。自家菜園では黄色、バイカラーの花粉が掛からないように注意します。早生種は近くに植えても交雑は少ないようです。ゆでて甘味と触感を楽しむにはバイカラーの『ラミールシリーズ』が良いでしょう。早生の『112』、中生の『123』があります。

ほぐして粒で冷凍するには皮の硬めの『アイダホシリーズ』がよく、北海道では広く栽培されています。**ホウレンソウ**…栽培は難しいですが、品種選択とコツをつかめば、いつでも新鮮な緑黄食野菜が楽しめます。ホウレンソウは日長の長さで花が咲きますので品種選択は暦とおりに決めます。『晩抽ジュリアス』は四〜八月に播種できて最も無難ですが、寒い時期は栽培日数が長くなります。温度の低い四〜八月には『スピードワン』を、八月下旬以降は生育の早い『アールフォー』を播種します。

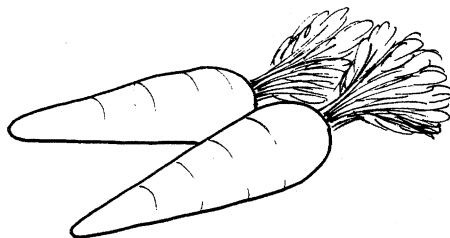
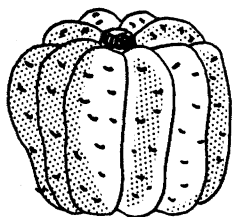
ダイコン…ダイコンは寒さにあたって花が咲きますので、『春時総太り』が無難です。八月まきは作りやすく早太りの『涼太』が適しています。生理障害に強く、品質も良好です。上手な方は専業農家向けの『喜太一』(五〜六月蒔き)、『晩抽涼太』(六〜八月蒔き)の栽培に挑戦してみてください。

ホウレンソウは寒さに強く、雪の下でも生きて冬を越します。雪解け後に食べる分も播いておくとよいでしょう。肥料とは別に石灰と過リン酸石灰を1kg/坪まいておきます。暑い時期、雨の多い時期は発芽しにくいので、あらかじめ水につけて芽だしをしておきます。日除けをしておくと発芽がよくなります。コマツナ『浜ちゃん』はF1で揃い良く、葉色が濃い品種で、五〜七月蒔きに適しています。

ニンジン…春蒔きには『ななか五寸』(F1種)、『紅芯五寸』があります。カボチャ…作りやすく、次々と成る『ゆきこ』は果重一・四kg程度の食

べきりサイズです。肉質はほくほく感があり、貯蔵後は甘味も増します。枝は三本に整理してください。

(北研 安達)



雪印種苗株式会社

本社 004-8531 札幌市厚別区上野幌

編集発行人 菊地 庸

一条五丁目一番八号

TEL 〇二〇八九一一五九一一

FAX 〇二〇八九一一五七七四